



2019年4月22日

各位

株式会社 いい生活  
 代表取締役社長 CEO 中村 清高  
 (コード番号: 3796 東証第二部)  
 問い合わせ先:  
 代表取締役副社長 CFO 塩川 拓行  
 電話番号: 03 (5423) 7820

## 2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月10日に公表致しました連結業績予想より営業利益、経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益の変動が30%以上となる見込みであることから、当該業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	2,002	31	30	11	1.68
今回修正予想 (B)	1,984	13	13	△3	△0.47
増減額 (B-A)	△18	△17	△16	△14	
増減率 (%)	△0.9	△56.6	△55.5	—	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,909	49	49	21	3.08

### 修正の理由

#### 1. 2019年3月期通期 (2018年4月1日～2019年3月31日) 連結業績予想の修正理由

売上高につきまして、初期費用を除いたクラウドサービス (拡販) の月次売上高 (2019年3月売上で約147百万円、2018年3月売上で約142百万円と前年同月比で約5百万円増収) が過去最高を更新したものの、当社主力サービスであるクラウドサービスの拡販売上の増収ペースが期初の想定に若干届かず、全体として当初予想を約18百万円下回る見込みとなりました。また、原価については開発活動の業務効率化を推進し期初予想より削減、販管費については営業活動にかかる費用が若干増加し、総費用としては期初予想よりも約1百万円減少したものの、売上高が期初予想の増収幅に届かなかった分をカバーし切れず、営業利益が当初予想より約17百万円下回る見込みとなり、経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益につきましても期初予想を下回る見込みとなりました。よって、利益に関しまして期初予想からの変動が30%以上となることから当該業績予想を修正致しました。

#### 2. 配当予想について

配当予想につきましては前回発表の1株につき期末配当5円の予想に変更ございません。

2019年3月期につきましては、「ES いい物件 One 賃貸管理」等の戦略的に重要性の高いサービスや新しい取り組みである不動産業務支援サービス等が順調に成長しており、クラウドサービス全体の利用法人数 (顧客数) においても前期末 (1,297法人) 比で118社純増の1,415法人と順調に伸びてきていること、また、この結果として上述のとおり初期費用を除いたクラウドサービス (拡販) の月次売上高が過去最高を更新していることから、期末配当予想を1株当たり5円とさせていただきます。

当社は、当該期の業績及びフリー・キャッシュフローの水準を十分に勘案した上で、利益配当の継続的实施並びに配当額の継続的成長の実現に向けて取り組むことを株主の皆様に対する利益還元の基本方針としております。当社のコア・ビジネスであるクラウドサービスの成長から継続的に配当額の成長を目指したいと考えております。

※ 上記に記載した内容は、現在集計中の資料に基づいて作成したものであり、後日開示する業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上